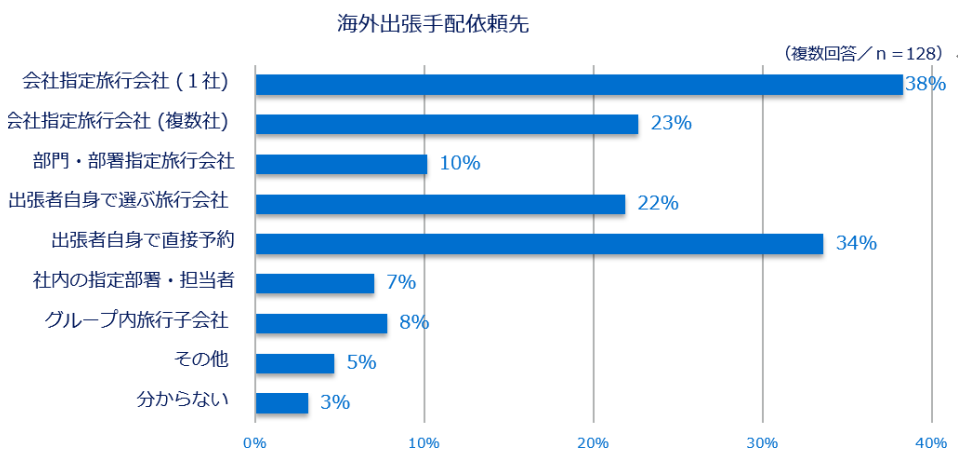


GBT NTA「日本における出張管理実態調査」を発表
～「専門の人材が必要」と約3割が回答、旅行会社の機能活用に余地あり～

出張管理業務全般を総合的にサポートするビジネストラベルマネジメント(BTM)サービスを提供する、アメリカンエクスプレス・グローバルビジネストラベル・日本旅行（本社：東京都墨田区、URL: <http://www.gbtnta.com/jpn/>）は、日本での出張管理の現状と課題を把握するため、2019年6～8月にかけて「上場企業」および「出張費用7,000万円以上かつ海外5拠点以上の未上場企業」の「人事」「総務」「財務・経理」等の出張管理担当者を対象とした実態調査を実施しました。調査結果から、日本企業における出張管理は「複数の購買チャンネル」での手配による「出張データの散在」、複数の部門による「管理責任の分散」と「現場レベルでの規律統制への依存」という実態が明らかになりました。また、課題改善のための必要な要素として「出張者・手配者の規程に対する理解」、「出張管理の専門的人材」などが挙げられることもわかりました。報告書本編では、出張費規模別の分析も行っています。

1. 複数の購買チャンネルでの手配による「出張データの散在」

海外出張手配の依頼先を質問したところ、「会社指定旅行会社(1社)」が38%で最も多く、「会社指定旅行会社(複数社)」の23%と合わせて61%の企業において出張者が利用すべき旅行会社を企業側で指定しています。一方で、「出張者自身による直接予約」を認めている企業が34%にのぼり、その中には会社で指定旅行会社があるものの直接予約も認めているという企業も存在しました。



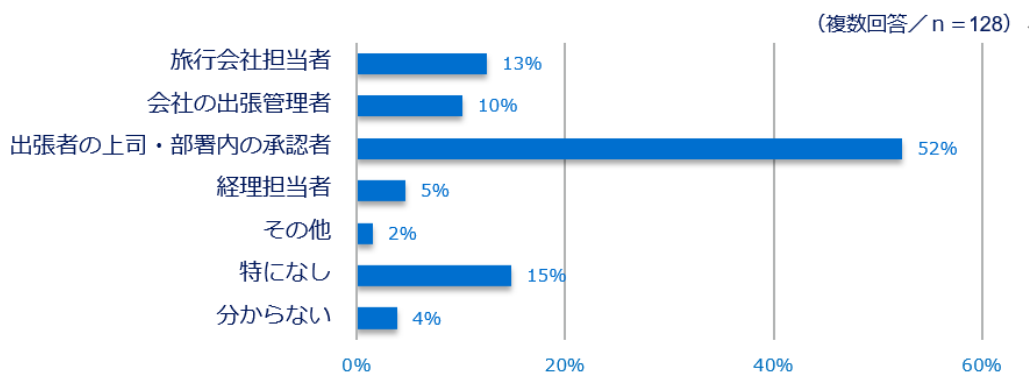
画像 1: 海外出張手配依頼先

この結果を「出張規模別」で確認すると、「年間3億円以上」の企業群では「会社指定旅行会社(1社)」が65%と突出しており、規模が大きいほど一元管理が進んでいることがわかる結果となりました。

2. 複数の部門による「管理責任の分散」と「現場レベルでの規律統制への依存」

出張者が予約手配を依頼した場合に、空席・空室状況やスケジュールの関係、出張者自身の好みなど、様々な事情で規格外手配となっているケースが生じますが、このような規格外手配を誰が発見・確認しているかを質問したところ、全回答者のうち52%の回答者が「出張者の上司・部署内の承認者」が行うと回答しました。一方、「旅行会社担当者」は13%、「会社の出張管理者」は10%に留まりました。

規格外手配の確認担当者（予約時から出発前まで）



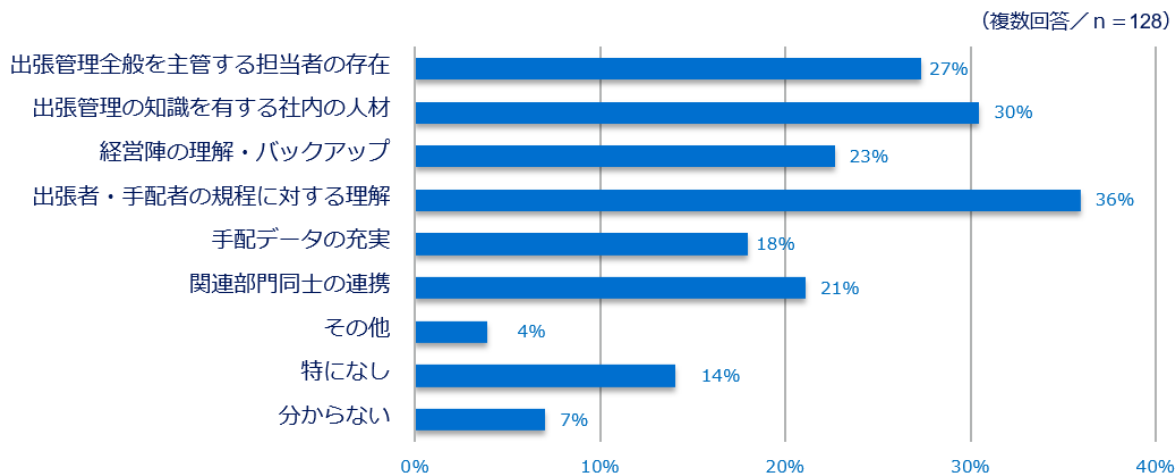
画像 2: 規定外手配の確認担当者

この回答を「会社指定旅行会社(1社)」の企業群に絞ってみると、「旅行会社担当者」が29%と大幅にアップし、専門の知識を持つ社外の担当者がチェックを行っている割合が増えることがわかります。

3. 課題改善に必要な「出張管理全般を主管する担当者」「知識を有する人材」の存在

今後の出張管理の課題改善に必要な要素について質問したところ、「出張・手配者の規程に対する理解」が36%と回答した企業が最も多く、次に「出張管理の知識を有する社内の人材」と回答した企業が30%、「出張管理全般を主管する担当者の存在」が27%と続く結果となりました。

課題改善に必要な要素



画像 3: 課題改善に必要な要素

4. 総括

今回の調査から、日本企業における出張管理は「複数の購買チャネル(出張者自身による予約を含む)」での手配による「出張データの散在」、複数の部門による「管理責任の分散」と「現場レベルでの規律統制への依存」という実態が明らかになりました。また日本企業では総務・人事部門が他の業務と並行して出張管理業務を担っていることが多く、自前での専門家の育成が難しい状況であることが想像されます。一方外資系グローバル企業では、「1つの購買チャネル」での手配による「出張データの一元管理」「旅行会社を活用した手配現場での規律統制」を行い「トラベルマネージャー」に出張管理責任を集中させています。日本企業の出張管理の改善策として、出張管理の高度化をともに考え実行をサポートする専門会社、すなわちトラベルマネジメントカンパニー(TMC: Travel Management Company)の手を借りることも選択肢の一つではないでしょうか。

本報告書は一部の抜粋です。全文は、下記 URL からお申込みください。

<https://www.gbtnta.com/jpn/news/2020/news20200122.html>

【調査概要】

調査対象:「上場企業」と「出張費用 7,000 万円以上かつ海外 5 拠点以上の未上場企業」の「人事部門」「総務部門」「財務・経理部門」「出張管理担当者」

有効回答数:128 件

主な調査項目 1)出張管理主管部門、2)予約手配依頼先、3)導入ツール、4)出張規程内容、5)出張規程外予約手配、6)データ活用、7)今後の課題、の 7 分野で合計 26 問

以上

アメリカンエクスプレス・グローバルビジネストラベル・日本旅行について (<http://www.gbtnta.com/jpn>)

アメリカンエクスプレス・グローバルビジネストラベル・日本旅行 (GBT NTA) (登記名:株式会社 日本旅行・グローバルビジネストラベル)は、2001 年 4 月にアメリカン・エクスプレスと日本旅行の合併会社として営業を開始し、アメリカンエクスプレス・グローバルビジネストラベル(GBT)の一員として、日本において BTM サービスを提供しております。

アメリカンエクスプレス・グローバルビジネストラベルについて (<https://www.amexglobalbusinesstravel.com/>)

100 年以上のビジネストラベルの経験により現在では年間 300 億米ドルを超える規模を取り扱い、出張管理業務全般を総合的にサポートするトラベルマネジメントカンパニー(TMC)としてグローバル企業を中心に、出張手配業務に加えて様々な機能をもつ先進的なツールや専門性の高いコンサルティングサービスを提供しています。



**GLOBAL
BUSINESS
TRAVEL**

本件に関するお問い合わせ先

アメリカンエクスプレス・グローバルビジネストラベル・日本旅行
(株式会社 日本旅行・グローバルビジネストラベル) 担当: 春日
お問い合わせ先 <https://www.gbtnta.com/jpn/contact/>

アメリカンエクスプレス・グローバルビジネストラベル・日本旅行 PR 代理
ブルームーン・マーケティング株式会社 担当: 柳澤
Tel: 03-6880-9121 / Email: gbtnta@bluemoonmarketing.jp